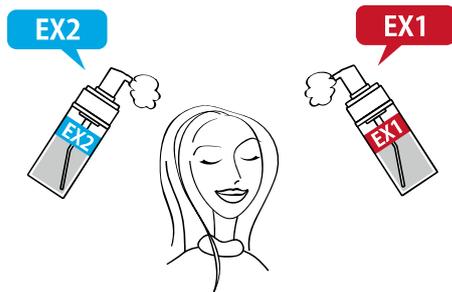


デジタルパーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

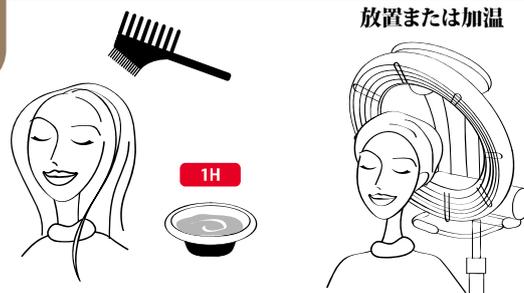
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

新生毛やクセが取れにくい部分は EX1 を塗布します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1H の刺激を緩和します。

2



●1剤 1H 塗布

毛髪診断に基づいて 1H を塗布します。

根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

毛先が超ハイダメージの場合は EX4 または EX1(原液) を塗布します。

塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

●放置または加温

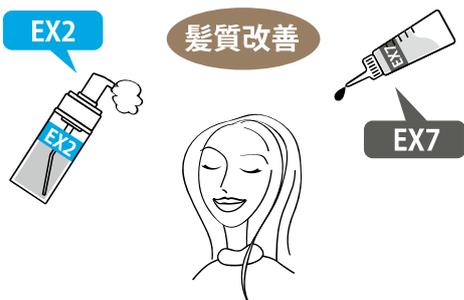
放置時間は10～15分が目安です。 ※オーバータイム厳禁

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

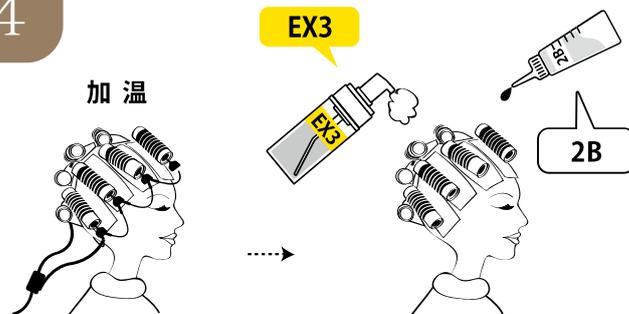
ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4



●ワインディング

●通電 加温 通電終了

●酸リンス EX3 2剤 2B 塗布

EX3 を塗布後余分な水分をタオルでしっかり取り 2B を塗布。

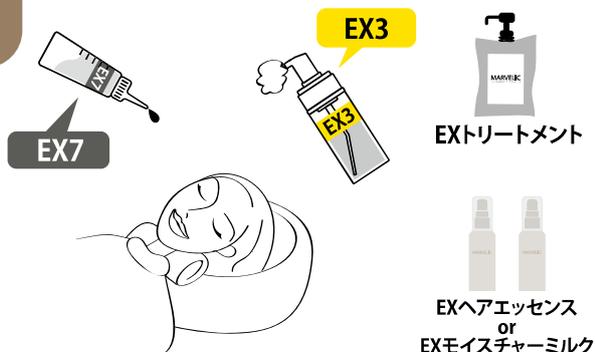
7分+7分放置

2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

●ロッドアウト

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さずに EXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、

EXヘアエッセンスまたは EXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

応用施術例

EX4

※オチ系の1剤を使用する場合

オチ系の1剤に EX4 を10～20%添加すると硬さやパサつきが無くなります。